大腸癌(進行・再発) 2nd·3rd Line

CPT-11(100)+Cetuximab療法 (導入)

コース目

O. OmL

0. 0mL

O. OmL

0. 0mL

O. OmL

mg

患者 I D: @PATIENTID

患者氏名 : **@PATIENTNAME**

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(㎡)	
\$HEIGHT01_Doc	\$WHEIGHT01_Doc	#VALUE!	

投与スケジュール: 1コース 28日

使用基準: class B (Day8以降 class C)

下痢・腸閉塞の患者には禁忌!!

※ UGT1A1遺伝子多型検査を考慮

同意書取得必須。 EGFR陽性。2nd Line 以降。

- ※ 投与中・投与終了後少なくとも1時間はVital signsのチェック (Monitor 装着を推奨)
- ※ Infusion reactionに要注意
- 重度のInfusion reaction(気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識障害、ショック、心筋梗塞、心停止)
- の発現の報告が**初回投与**又は**投与終了後1時間以内**に多いが、**投与数時間後**又は**2回目以降**
- の投与でも発現することがある。
- ※ 血清マグネシウム値のモニターを定期的(月1回程度)に行うこと。
- ※ 皮膚症状には早期から積極的な対応を行うこと。

《使用薬剤》

イリノテカン (CPT-11): (イリノテカン) 40mg/2mL/V、100mg/5mL/V

セッキシマブ (CET): (セッキシマブ) 100mg/20mL/V

投与量:

薬剤	標準投与量		計算値(mg)	投与量(mg)	投与日
イリノテカン(CPT-11)	100	$mg/m^{\!\mathtt{r}}$	#VALUE!		1. 8. 15
セツキシマブ	400	$mg/m^{\!\mathtt{r}}$	#VALUE!		1
	250	$mg/m^{\!\mathtt{r}}$	#VALUE!		8. 15. 22

〈〈 タイムスケジュール:開始時刻 〉〉

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

day 1 **10月28日** (水)

0時00分 ① 生食 50mL +ポララミン1A +デキサート13.2mg

15分で点滴静注

0時15分 ② 生理食塩液 100mL

30分で点滴静注

○ 0時45分 ③ 生理食塩液 **500mL** + セツキシマブ **mg**

2時間で点滴静注

1時45分 ④ 生理食塩液 250mL

60分で点滴静注 (**経過観察**を十分におこなう)

2時45分 ⑤ 生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1 A

15分で点滴静注

3時00分 ⑥ 生理食塩液 250mL + イリノテカン

90分で点滴静注

4時30分 (7) 生理食塩液 50mL (フラッシュ)

day8 **11月4日** (水) day15 **11月11日**

0時00分 ① 生食 50mL +ポララミン1A +デキサート13.2mg

15分で点滴静注

0時15分 ② 生理食塩液 100mL

30分で点滴静注

0時45分 ③ 生理食塩液 250mL + セッキシマブ *Ome*

60分で点滴静注

1時45分④生理食塩液250mL60分で点滴静注(経過観察
を十分におこなう)

2時45分 ⑤ 生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1 A

15分で点滴静注

3時00分 ⑥ 生理食塩液 250mL + イリノテカン

90分かけて点滴静注

7 生理食塩液 50mL (フラッシュ)

day22 **11月18日** (水)

4時30分

0時00分 ① 生食 50mL +ポララミン1A +デキサート6.6mg

15分で点滴静注

0時15分 ② 生理食塩液 100mL

30分で点滴静注 0時45分 ③ 生理食塩液 250mL

+ セツキシマブ *Omg*

60分で点滴静注

1時45分 ④ 生理食塩液 250mL

60分で点滴静注 (経過観察を十分におこなう)